A/m/sオリジナルサスペンションキット取扱説明書（BMW E36 M3）

【基本情報】

・スプリングレート　Ft：12k　／　Rr：14k

・車高　標準値　Ft：335mm　／　Rr：315mm
※ハブセンター～フェンダーアーチ

・減衰力　※推奨基準値(標準)　Ft：14～16　／　Rr：18～22
（30段調整）※推奨基準値(スポーツ)　Ft：10～12　／　Rr：12～16

【取付け前寸法について】

・各部暫定寸法　取付前の暫定寸法です。最終的には個体差により再調整が必要ですのでご了承ください。
※推奨基準値（単位：mm）

・ケース長　プリロードを決定後、ケース長で車高を調整。純正より10～15mm短い程度が推奨。

・フロントスプリング　スプリングシートがスプリングにタッチしたところから5mm程度圧縮が推奨です。

・リアスプリング　取付時暫定位置～スプリングの下端がネジ全長の中間位置。

【取付後寸法について】

・車高の再調整　取付後に車高の再調整を行ってください。推奨基準値は下記のとおりです。
※推奨基準値（単位：mm）　→上部に記載

・伸び側ストローク　1G状態からの伸び側ストロークが20mm以上確保できるようケース長を調整してください。

・アライメント　特にフロントのアライメント測定、調整を“必ず”行ってください。

【セッティングについて】

・減衰力　　サーキットでは上記を基準にアレンジしてください。
ただ、使用範囲としては１０～２０くらいが、しなやかで自然なコーナリングになります。
１～１０付近ですと、アンダーステアやリバースステアが出るなど、
剛性感はあっても不自然なコーナリングになることがあります。

・車高　　あまり下げすぎるとストロークが無くなり、フロントが低すぎる場合はコーナリング後半で
フロントが逃げるような強いアンダーステア、リアが低すぎる場合はリバースステア
（突然のリアのブレーク）など弊害も出てきますのでご注意ください。

【メンテナンス】

・スプリングの落ち着きが出てくると車高は少し下がりますので、慣らし後は再調整をお勧めいたします。
慣らしはガソリン満タン１回または半分程度が推奨です。

【取付後の注意点】

・ケース長を短くした際は、フルバンプ時のタイヤとフェンダーの干渉にご注意ください。
・ショックケースおよびスプリングシートと、タイヤ・ホイールとの干渉がない事を最後に必ずご確認ください。
ホイールによっては５～１０㎜のスペーサーが必要なこともあります。

・**ロアブラケットを締めこむブラケットロックは緩み出やすい箇所ですので、レンチで締めた後
大きなマイナスドライバーとハンマー等でしっかりと締めこんでトルクをかけてください。**
・スプリングシートに関してはそれほどきつく締める必要はありません。

・配管、配線固定用の汎用ステーは必要に応じてご使用ください。
・スタビライザーブラケットを使用した際は緩まないようにヘックスボルトをしっかりと締めこんでください。
緩むとホイールと干渉する恐れがあります。また、タイヤ・ホイールとのクリアランスも十分ご確認ください。

【その他】

・上記の初期セッティングを試してみていただいた後は、
他のセッティングもドライビングや走行ステージに合わせてぜひお試しください。

・不具合、疑問点等ありましたら、ご遠慮なくご連絡ください。

販売元：　A/m/s Inc.（有限会社　エイ・エム・エス）
東京都稲城市押立1693-6
Tel ：042-316-3000
Fax：042-316-3001
E-Mail：office@active-ms.com